

第2回 一宮地区公共施設再編整備基本構想検討委員会 議事録

日 時 令和3年1月12日（火）

午後2時から

場 所 一宮生涯学習会館 1階 集会室

1 開会

出席 委員10名、事務局（池田副市長含む）9名

2 副市長挨拶

3 議事

（1）一宮地区公共施設再編整備基本構想の検討経過について（資料1、参考資料1、2）

委員長	第1回では、公共施設再編の進め方、一宮地区の現状、再編対象施設について議論をしました。今回は第2回ということで、再編パターンの比較検討などについて、皆様のご意見を伺う会になっております。再編の大きなフレームが今日の会議で構成されますので、重要な会議になっています。活発なご議論をお願いします。
事務局	（資料の説明）
委員長	前回の議論と、本日の会議資料への事前の意見のまとめでした。確認したいことや質問などありましたらお願いします。
委員	（意見なし）
委員長	それでは、次の議論に入りたいと思います。

（2）一宮地区公共施設再編整備基本構想策定に関する住民アンケート結果について

（資料2、参考資料3）

事務局	（資料の説明）
委員長	<p>参考資料3はアンケート結果の全てで、資料2はその中から抜粋した資料です。私としては、参考資料3に関しては、施設再編そのものに関わる住民の意向だけでなく、今後の一宮地区のまちづくりを進めていく上で重要な意見もたくさん出ているので、有効に活用すべき資料だと拝見させていただきました。</p> <p>説明では概略だけを示していただきましたが、参考資料3では、属性別に分けて、ほぼ全ての質問に対してクロス集計の結果が出されており、どこに住んでいるどの階層の方がどのように思っているのかということがかなり明確に出ていますので、その辺りも見てみるといいと思います。例えば、19歳以下の方は公共交通に対するの不便を感じる場合が多いとか、特定の地域にお住まいの方の不満が高いとか、きれいに出ている部分もありますので、そういうところに配慮する必要があると思いました。</p>

委員	(意見なし)
委員長	それでは、次の議論に入りたいと思います。

(3) 再編対象施設及び施設整備地の検討について (資料3～5、参考資料2～4)

事務局	(資料の説明)
委員長	最初に、資料3で6つの施設を再編対象施設にするということで説明がありましたが、そのことについて何かご質問等ございましょうか。前回はこれ以外の施設もあったのですが、この6つの施設に絞った議論を進めていくということですが、よろしいでしょうか。
委員	(意見なし)
委員長	次に、資料4です。敷地A、Bがあり、どちらにするかという話ですが、これについてはいかがでしょうか。 これは再編の方向性の中でも、立地に関するものであって、立地適正化計画の中で都市機能誘導区域に誘導していくという大きい方向性があるものです。資料4を見ますと、紫の線で都市機能誘導区域が示してあります。この中に誘導施設を誘導していくということが上位の計画にあり、それに沿って場所を検討するということです。敷地Aは現在の一宮庁舎の敷地で、都市機能誘導施設の北端にあるので条件を満たしているということになります。 一方で、敷地Bは、三河一宮駅周辺の都市機能誘導区域の中から、今の一宮庁舎の敷地と同等の1ha以上ある広い適した敷地を探さなければならないということになります。現実的にはそのような土地を見つけるのは困難であり、その観点から言うと敷地Bは現実的に難しいです。 いただいた意見の中には、歴史的な経緯とか、アクセスのし易さ等を考えると、敷地Aの方が良いのではないかということでした。これについてご意見ありますでしょうか。それでは、敷地のAの方がふさわしいということで、よろしいでしょうか。
委員	(意見なし)
委員長	それでは、敷地Aの方が進めていくのが現実的であるということで、立地適正化計画に沿った方法で進めていきたいと思います。
委員長	資料5です。ここでは個々の施設についての再編の方向性に当たるものをまとめてあります。それとは別に再編全体の考え方にも、再編の方向性という文言があります。これは個々の施設の話ではなく、全体的にどのように進めていくのかということで、7つの再編の方向性としてまとめてあります。個々の施設に関する再編の方向性でも、再編全体を見た方向性でも構いませんので、ご意見をお願いします。
委員	資料5の全体の方向性に関しては概ねよいかと思います。1点気になるのは、資料3の6施設に関しては、一部利用率が高いものもありますが、基本的に利用率が低い状況でして、その原因に施設が点在していて、交通アクセスが悪くて、老朽化していて、機能が重複しているということが度々指摘されており、確かにそのような面はあると思います。複合化すれば必ずしも利用率が上がるとか交流が促進されるというわけではないという点です。そういう意味で、全体の方向性の中で、具体的にどうす

	<p>れば交流の場として市民の方に活用していただける場所になるのかということも、もう一步踏み込んで書き込んでいくといいと思います。もちろん公共の施設なので民間の施設のように利用率を毎日意識しなければならない訳ではありませんが、日常的な利用、非日常的な利用、緊急時の利用など様々な観点があると思いますけれど、総合的な視点からどういう場所にしていくべきかというのを一緒に考えていけると良いと思います。</p>
委員	<p>総合的には、書いてあることで良いと思いますが、複合化したところでどういう利用ができるかということかと思えます。今の施設の課題はここに書いてあることで良いとは思いますが、全体的に施設が暗いと思えます。老朽化が進んでいるので仕方がないとは思いますが、明るさがあればもう少し人が集まる可能性があると思えます。</p> <p>施設でできることを周知していただければ、利用率は上がるのではないかと思います。再編については、どこかでやらないといけませんので、これについては地域の皆さんに喜んでいただけることを重視しながらやっていただければと思います。</p>
委員	<p>各施設の老朽化が進んでいる、施設の機能が分散しているというのがポイントかと思えます。1つは施設の再整備には費用がかかるので、できるだけコストを下げること考えないといけません。その中で保有資産を如何に活用するかが大事です。</p> <p>また、アンケートにも書いてありましたが、お年寄りと子どもが施設が分散されていることによって、バラバラに行動するのではなく、家族で楽しめる施設や機能があれば利用価値を高めることにつながるのではないかと思います。特に、子どもに視点を当てると、学ぶ機能がある施設にしていくことで、家族が集まってコミュニケーションができる場にするのが大切であると思えます。</p> <p>田原の駅前にラグラランという施設があり、子どもだけでなく大人も参加できるアクティビティがあり一日過ごせるような施設があります。こういう施設があると、一宮だけでなく豊川市の魅力も発揮できる施設になるのではないかと思います。</p>
委員	<p>施設を現在の一宮庁舎に移すというのは確かに合理的だと思いますが、「豊川市立地適正化計画において、誘導施設に設定されている、図書館・生涯学習会館については、都市機能誘導区域へ誘導することに配慮する」ということはできるのでしょうか。行政の目的は費用ということだけでは判断できないと思えます。仕方がないとは思いますが、なるべく地域の方にとって不公平ではない方向で考えないといけません。</p> <p>また、再編全体の考え方に、「市民がアクセスしやすい場所に拠点となる施設を検討していく。」とあります。アクセスしやすい場所というと一宮支所ということになるかもしれませんが、そこには地域公共交通が大体集まっています。しかし、全く恩恵にあずかれない地域があることを知らないといけません。今もそういう状況にあって、新しく地域を作り直していこうと言っているのに、また同じなのかということになってしまふということを考えなければなりません。どうすればいいかと言われると困るのですが、アクセスしやすいということについては、地域公共交通をしっかりと確保しないとはいけません。難しい問題だと思います。あとで後悔するようなことはあってはならないので、慎重に慎重を重ねて、住民のためになるような再編をしてほしいです。行政の都合だけできれいにまとめてはいけません。</p> <p>この先も少し時間があると思えますので、みんなで先のこと、全体のことを考え</p>

	<p>て、便利な地域が益々便利になって、便利でない地域が益々疎外されるような政策を決してやってはいけないと思います。意見がまとまらないのですが、これからも少しずついろいろな答えを出していきたいと思っています。</p>
委員	<p>小さい子を持つ親としての意見ですが、主に使う施設は児童館と図書館です。住民アンケートの結果にもあったように、この2つの施設が一つにまとまっていると、小さい子どもがいる人が行き易いと思います。</p> <p>ただ、現在の図書館は、子どもと大人のスペースが近いので、小さい子を連れて行くと、騒がないか走らないかと気を使って、ゆったりと本を選ぶ雰囲気ではありません。この点について、中央図書館は入口を入れて右と左にスペースが分かれていますので、少し距離があってもそちらを選びますし、また、蒲郡の図書館は1階が子どものスペースで2階が大人のスペースになっているので、ゆったりと子どもに本を選ばせてあげたり、児童館に行ったりできる施設となっておりますので良いと思いました。</p>
委員長	<p>スペース的に狭いので子どもを連れていくと、騒がないか心配という意見がありましたが、現在の施設はスペースが狭いという話でしょうか。</p>
委員	<p>分けられてはいますが、子どもが騒いでいると静かにと注意されることがあります。</p>
委員長	<p>単純に面積的に集約するというのではなく、臨機応変に考える必要があるという意見だったと思いますので、事務局の方で斟酌していただければと思います。</p>
委員	<p>いちのみや児童館は、昔子どもが小さいころ連れて行ったこともあります。建物がある場所が西部区域で、自分は東部区域から行っていたので、行きづらいと思ったことがあります。場所については難しいこともあると思いますが、簡単に考えてしまえば、一宮庁舎に児童館や図書館があれば、みんなが気楽に来ることができる場所になるのではないかと思います。</p> <p>一宮体育センター、農業者トレーニングセンターは、一度も利用したことがないのでわかりませんが、今でも予約が取れなくて利用が出来ないという意見もあるので、集約したことによって利用できない者が出ないように、うまく再編ができればよいと思いました。</p>
委員	<p>場所は、昔から知っている一宮庁舎のところが良いと思います。しかし、集約すると、建物がすごく大きくなると思うので、駐車場をどうするかということが気になります。現在の一宮庁舎の駐車場は少し狭いので、そこを考えないといけないと思いました。</p> <p>児童館は、私は南部に住んでおり、児童館は西部にあるので、子どもがいても1回しか行ったことがありません。一宮庁舎にあると便利だと思います。</p>
委員長	<p>駐車場が狭いとのことですが、現状で狭いということでしょうか。</p>
委員	<p>狭い気がします。</p>
委員	<p>健康福祉センターには、近くに温泉施設と、北側には手取山公園、野球場もあるので、そういうものと一体的に利用できるようにすることも、考えてもいいのではないかと思います。</p> <p>また、一宮庁舎の敷地は、敷地内に建物がバラバラと建っていて、取り壊して整備すれば、ある程度整理することができると思います。駐車場についても、例えば、立</p>

	<p>体駐車場にすればよいのではないかと思います。できれば、一宮庁舎の周りに体育施設等も統合し、可能ならば図書館や児童館も一体的に整備するのがいいと思います。</p>
委員長	<p>健康福祉センターについては、「施設の有効活用のため、複合的利用などの可能性を検討する」とあり、どういうふうに利用するとは書いていないわけですが、公共施設の再編ということだけでなく、より発展的に、関連する施設を含めて利用の可能性を検討することで、有効活用できないかという意見でした。</p>
副委員長	<p>資料5について、基本的にはこういう方向性で良いと思います。感想としまして、再編の方向性ということで大きくはコストの縮減、面積の縮減が基本的なものとしてありますが、質的なものにも力を入れて書き込んでいただいても良いのではないかと思います。例えば、質的な魅力を高めるとか、地域のシンボルとなるようなものを作るという様なことを書き込んでいただくと良いと思いました。面積の扱っただけだとつまらない話に聞こえてしまうので、一宮地域らしい建物をつくらうということなどを書いてほしいです。また、従来から色々な施設の名称がありますが、だんだんそれらが溶け合ってきて、かつての施設の名称だけではくれないような施設もあるので、図書館があり会議室があり体育館があるというよりは、もっと機能が繋がった施設をイメージできると思います。そうすると、子どもたちが気軽に来ることができるなど、もっと楽しい、面積的にも重ね合わせながら有効利用できる、地域にとって豊かな施設になると思うので、こういったことも方向性の中に書き込んでいただくと良いと思いました。</p>
委員長	<p>再編の方向性については、先端的なデザインの施設をつくるというようなことでしょうか。</p>
副委員長	<p>はい</p>
委員長	<p>質的なデザインを重視した施設を作ることも重要で、そうすることで、先ほど図書館の話でもありましたスペースの作り方の課題も解消できるのではないかというご提案かと思います。</p> <p>また、先ほど利用率についての話を聞いていて、利用率を上げることを目的として再編するわけではないと思いますが、施設によって利用する時間帯が違うことに留意することが重要かと思いました。例えば、体育館は平日の昼間は仕事があるため来る人はおらず、主に夜間や休日に利用するということかと思います。庁舎については用がある人が来きます。一方で、児童館、図書館は、子どもを連れて来ます。このように目的が違えば時間も違うので、一般的なにぎわいというあいまいな言葉で言っても仕方がないという気がしましたので、その辺りも含めて考えないといけないと思います。</p> <p>交流のキーワードとしては「家族」が大切ではないかという意見がありました。お子さん連れの家族や高齢者の方を踏まえた、にぎわいがある楽しいものができる、いろいろな人が利用するにぎわいの一つの姿ができると思いますので、そういったにぎわいの像あるいは交流の場のイメージというのがあると良いと思いました。</p> <p>また、一般の地方都市は中心がさびれており、その対策としてよくあるのが駅前や駅直結で図書館を入れた施設を整備するというものです。図書館だけでは施設が埋まらないので、交流コーナーを作ると、中学生や高校生が勉強しにぎわいが生まれます。地方都市のにぎわいのほとんどを彼らが作っているという例は珍しくありません。一宮も同じような立場だと考えると、当然中央図書館は遠く電車では行かないと</p>

	<p>思います。そうすると、彼らが同じようなことをしたいと思った場合、場所がないということになります。アンケートでも19歳以下は交通の便が悪いという回答が非常に多く、おそらくそういう恩恵にあずかっていないと思われるので、そういうことも少し考えていくべきかと感じています。上手くまとまりませんが、施設の再編、利用、にぎわいの作り方を、時間帯、参加する方、曜日、時期などを踏まえた上で細かく議論して集約していかないといけないかと思えます。</p> <p>それから、「市民がアクセスしやすい場所に拠点となる施設を検討していく」ということについて、拠点の議論は地域を結ぶ公共交通の議論と密接で、切っても切れない重要なものだと思います。そういうものも含めた再編の方向性という意識で議論を進めていきたいと思えます。</p>
--	---

(4) 再編のパターン案について (資料6、参考資料2、3)

事務局	(資料の説明)
委員長	<p>話の流れとしては、資料5で考えた再編の方向性の延長にあるパターンということだと思います。どの場所にどの機能を集約するのかということで作成されています。事前にいただいた意見では、パターン1がふさわしいという意見が多くありました。それについて、そうでないパターンが良いというような意見があればご意見を伺いたと思います。いかがでしょうか。</p>
副委員長	<p>パターン3での可能性として、いかまい館の会議室などのスペースを活用するというのは、それなりにコストや維持費をかけるということでしょうか。</p>
事務局	<p>パターン3で社会教育機能を入れるということについては、現在のいかまい館に貸し部屋があり、そのスペースを有効活用するという意味で、生涯学習会館の社会教育機能の一部を入れるということを考えています。その用途に適した部屋とするための改修費用は必要に応じて一部生じるかと思えます。</p>
副委員長	<p>考え方として、少しの改修経費で会議室が使えるのであれば、同じ面積のものを作ることと比較すれば、例えば、災害時の拠点が複数化することなど良いことがあると思いますので有効利用するという点でよいと思いますが、それによって新設施設の面積が大きく減ってしまうということであればよくありません。新設施設はきちんと必要な機能及び面積を確保して、いかまい館を有効に使うということであれば良いと思います。</p> <p>また、パターン1を見た時に、いかまい館の会議室機能が閉じてしまうというふうに見えるので整理するべきだと思いました。</p>
事務局	<p>パターン3を検討する視点として、いかまい館の会議室の稼働率が非常に低いことがあり、これを解決する一つの方法としてパターン3をお示ししました。新設施設の社会教育機能を狭めて、その分いかまい館を利用するイメージがパターン3です。</p>
委員長	<p>今のお話ですと、パターン3は新設施設の社会教育機能(会議)を狭めることで、残したいかまい館の会議室機能の稼働率を上げるということですか。</p>
事務局	<p>仮定としてはそうです。</p>
委員	<p>パターン1でいいと思うのですが、廃止予定施設に一宮生涯学習会館があります。これは解体するという考えでよろしいですか。「図書館、生涯学習会館に関しては都</p>

	市機能誘導区域へ誘導することに配慮する」と書いてあり、生涯学習会館をどうするのか確認したいです。
事務局	生涯学習会館は建物の中からこの場所にある機能を新設施設に持っていくので、機能がなくなってしまった建物は、いらないと判断されれば解体します。ただし、場合によっては防災などに活用されることも考えられます。
委員	老朽化した建物を残す価値はあるのでしょうか。
事務局	生涯学習会館に限らずですが、機能を集約した後どうするのかということは、その次の課題です。
委員	効率という目標を掲げているのであれば、利用されにくい建物を残すということは矛盾すると思いますので、廃止して解体するというのであれば是であると思います。しかもその敷地は借地です。50年間と長いスパンで考えており、保有面積の30%を縮減することも書かれています。そういう方向に持っていこうと考えているのかと思ったので確認です。
事務局	今日の段階で確定的な予定はありませんが、生涯学習会館に限らず、集約して機能を移した後の建物は、解体するなり転用するなり、今後、検討していきます。
委員	わかりました。生涯学習会館は、都市機能誘導区域に誘導するのでしょうか。
事務局	都市機能誘導区域へ誘導するという上位計画があるので、その様に考えております。
委員	そうするとやはり施設が分散することになります。効率化と言えるのでしょうか。
事務局	社会教育機能を2つに分けることになれば、そうだと思います。
委員	立地適正化計画に沿って、都市機能誘導区域にとありますが、あまりこれにこだわる必要はないと思います。分散させるということは考え物だと思います。 また、何度も言いますが、その場合、一宮生涯学習会館は解体して更地にしてお返しするということが前提であれば、間違いではないと思います。その辺をはっきりさせたいです。
委員長	確認ですが、パターン1にした後は、集約した施設を新しく作りますので、集約された後は施設は無くなります。建物はすぐに壊せないこともあるので残るかもしれませんが、実質使われないということかと思えます。生涯学習会館について言うと、パターン1又はパターン3を取った場合は、もぬけの殻になって、施設だけが残り、そして、いつかはお返しするというのが筋であると思うのですが合っていますか。
事務局	基本的な考え方の一つとしてはあると思います。
委員長	基本的な考え方であるけれど、すぐ壊すのはもったいないから、暫定的にどうゆう使い方ができるのかなどの議論がその後あるかもしれない、ということです。そこまで含めて、矛盾している、聞いていてさっぱりしていないということになると厳しいですが、基本的には新しい施設に集約されるので、1つの施設になってしまうということです。
委員	もぬけの殻になった建物を残しておいて高い借地料を払い続けることは、行政の効率化に繋がるのか疑問です。機能を他に移すのであれば、お返しするという方向ですね。借地料は高いので、特に使用目的も無いまま、壊すのがもったいないから、なんとなく壊せず借地料を払いながら建物を残すということは、あってはならないと思います。その辺を、はっきりさせるべきだと思います。はっきりさせた上で、機能をど

	<p>こに持っていくのかを考えるべきです。</p> <p>それから、一宮支所周辺に機能を集約する場合、図書館や生涯学習会館を、都市機能誘導区域だからといって、土地を探して移動させる必要があるのかどうかについても併せて考えるべきだと思います。</p>
委員長	<p>事務局からは、パターンをはっきりと決めてくださいということでしたが、具体的な条件を付けないと出来ないと思います。例えばパターン1とパターン3は非常に似ていますので、パターン3のように、健康福祉センターの方の社会教育機能の会議室をほとんどお金をかけないで、しばらく貸出しながら存続させて残すということもありません。</p> <p>要するに、空いた施設の利用を各委員が心配していて、そのイメージが拙い中で新施設の話をしづらいところがあると思います。その辺りはどういう考えをお持ちでしょうか。例えば、暫定期間みたいなものもあります。建った後にすぐ壊すのか、あるいはしばらくの間残して、暫定期間を設けてその間は利用するなど、そのあたりのオプションについて、パターン1とパターン3のような似ているパターンがある中で、なかなか議論しづらいところがあると思いますがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>基本的な考え方としては、機能がなくなってしまった建物は、いらないと判断されれば壊します。建物が無くなった後、土地については借地ならばお返しするとか、今回の公共施設の再編には直接関係ない違う目的で使うという可能性もあるかと思えます。廃止予定施設と書かれた施設については機能を一箇所に集約します。その後の建物については、いらぬものは、撤廃するという大前提としてご理解いただければ良いと思いますが、現段階では、いつ頃壊すだとか、本当に壊すのかななどについては、確定的ではないので、将来的には撤去することになるという前提で考えていただければいいと思います。</p>
委員長	<p>パターン1かパターン3かという話ですが、委員の皆さんからご意見ありますか。パターン3で、いかまい館の有効利用ということで社会教育機能の会議スペースを残したからといって、新施設が陳腐化するのもおかしいと思いますので、なかなか決めづらいということはあると思います。委員の皆さんどうでしょうか。</p>
委員	<p>パターン1とパターン3の違いは社会教育機能の会議室の有無だとは思いますが、このスペースはパターン1では貸し出さずに保健センターで使うということなのでしょうか。そこを壊して何か作るという訳ではないのでしょうか、会議室は貸さないけど残ってはいるという形で考えればいいのでしょうか。</p>
事務局	<p>パターン1では、貸さないわけではないです。今のままということです。</p>
委員	<p>例えば、保健センターの一部としてそのスペースを使うこともできると思います。</p>
事務局	<p>改修などがあるかもしれないということを申し上げましたが、今ある会議室を生涯学習会館の社会教育機能の一部として、使うという考えです。</p>
委員	<p>それはパターン3についてだと思います。私が言っているのは、パターン1の場合、会議室は空いたままの状態になるから、保健センターの一部として利用するので貸し出しはしないということなのか、完全に空いたままの状態になってしまうのかという質問です。</p>
事務局	<p>パターン1は今の使い方のままということです。新しい使い方ではなくそのままということです。もちろん、いかまい館全体の有効利用という点については、別の</p>

	利用方法もあると思いますが、パターン1、2では、そのまま残すということになっています。
委員	社会教育機能としては使わないということですね。
事務局	そうです。
委員	わかりました。
委員長	<p>今の話ですと、利用の話はしていないから、ものとしては残すということで、後利用については、別で検討されるわけですね。位置づけとして、パターン3の社会教育機能としての位置づけがないというのがパターン1ということかと思います。ただし、場としては残るので、それをどう使うかは、まだ検討の余地がありますということでした。</p> <p>そういうことを踏まえるとパターン1が妥当ということかと思いますが、色々ご意見が出たので事務局でその辺をご検討いただきたいと思います。</p> <p>その他について事務局から説明いただきたいと思います。</p>

7 その他

事務局	第3回の本検討委員会の開催時期については、6月頃に開催する予定とさせていただきます。また、来月は小坂井地域交流会館（仮称）の現場視察を行います。日程が決まりましたら、また改めてご連絡させていただきます。
-----	---

以上